

令和元年度

事業報告書（案）

平成31年 4月 1日から
令和 2年 3月31日まで

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

令和元年度事業報告書(案)

ソフトテニスの普及振興、国民の心身の健全な発展への寄与を目的とし、「ソフトテニスの普及振興事業」「ソフトテニスの競技力向上事業」「ソフトテニスの国際振興事業」に係わる事業を積極的かつ効果的に実施した。

I. ソフトテニスの普及振興事業

1. ソフトテニス競技規則の制定

競技規則の見直しを図り、関係委員会で協議した。

2. 全日本ソフトテニス選手権大会等開催

- ・国内大会を実施要項に基づき実施した。(別表 1)
- ・全日本社会人選手権大会及び天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会の参加条件を変更した。
- ・新規全日本大会として全日本ミックスダブルス選手権大会を検討し、令和 2 年度より開催が決定した。
- ・主催大会を主管し、実質的に運営している開催地の準備状況を的確に把握し、大会が円滑に運営できるようにした。
- ・個人戦および団体戦における選手変更方法を見直し、本年度大会より実施した。
- ・全ての大会において組み合わせの事前公開を実施した。
- ・試合経過の配信を実施した。
- ・日本リーグ所属チームと意見交換を行い、活性化について検討した。
- ・日本スポーツ振興センターより助成金を受けて大会を実施した。

JOC ジュニアオリンピックカップ大会／第 26 回全日本ジュニア選手権大会 助成金 993,000 円

第 74 回天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会 助成金 2,261,000 円

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、下記大会を中止した。

第 45 回全日本高校選抜大会

第 31 回都道府県対抗全日本中学生大会

第 19 回全国小学生大会

3. 地域ソフトテニス大会支援

地域等における競技会の開催に補助を実施した。(別表 2)

4. 加盟団体が行うソフトテニス競技力向上と普及振興支援

- (1) 地域クラブ、ジュニアクラブ等の育成の充実を図ることを目的として、各支部に対し会員登録料から下記の率により助成した。

一般 20%、大学 20%、高校生 10%、高専 10%、中学生 20%、小学生 50%

注：支部とは、各都道府県連盟、日本学生連盟、高体連ソフトテニス専門部、中体連ソフトテニス競技部を指す。以下同じ。

- (2) 都道府県開催事業への支援

- ・小学生大会への補助(46 支部×@30,000 円)
- ・中学生大会への補助(47 支部×@30,000 円)
- ・ソフトテニス週間の実施と補助(44 支部×@100,000 円)
- ・ソフトテニス愛好者増加対策(47 支部×@150,000 円)

- (3) ナショナルチーム選手を派遣し、地域のソフトテニス振興と競技力向上に寄与した。(別表 3)

5. ソフトテニスの広報活動

- ・メディア対策として、大会等のイベント実施前の資料提供を積極的に行った。
- ・平成 13 年より継続している全日本選手権大会のテレビ放送を 19 年連続実施した。
- ・J スポーツオンデマンド放送を実施した。

(第 36 回全日本小学生選手権大会、第 37 回日本リーグ、第 5 回柳葉敏郎チャリティーソフトテニストーナメント)

※第 31 回都道府県対抗全日本中学生大会は新型コロナウイルス感染症拡大の状況により中止となった。

- ・各主催大会において即時性のある記録、写真、動画の配信を行った。
- ・ホームページのスタート画面を改訂してスマートフォン対応を図り、画面を刷新した。
- ・機関誌「ソフトテニス」を毎月発行した。

購読者数 支部購読 1,068 名 個人購読 151 名
(平成 30 年度 支部購読 1,259 名 個人購読 172 名)

- ・会員報を年 2 回発行した。
- ・大会記録集を作成し、加盟団体や報道機関等へ配布した。
- ・ソフトテニスの歌「ウィニングショット」、ソフトテニス応援歌「青空背負って」の活用を呼びかけた。
- ・全国広報担当者実務研修会開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により開催中止となった。
- ・大会やイベント等において積極的に「そふていー」を登場させ、ソフトテニスを広くアピールした。
- ・SNS を利用した広報活動の推進のため、公式 SNS を令和 2 年度開始に向けて準備した。

6. ソフトテニスの表彰・顕彰

各種表彰を現行の表彰基準により行った。(別冊:令和元年度表彰者名簿)

(1)本部功労者	3 名
(2)支部功労者	89 名
(3)優良団体	42 団体
(4)最優秀監督および優秀監督	20 名
(5)最優秀選手および優秀選手、敢闘選手	12 名
(6)ランキング	508 名
(7)国際大会入賞者(第 16 回世界選手権大会)	19 名
(8)日本スポーツ賞	1 ペア
(9)JOCジュニアオリンピックカップ	2 名

7. ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定

- ・技術等級制度規程に基づき、資格認定を行った。(別表 4)
- ・大会実績による認定基準を見直し、より取得しやすいものとした。

8. ソフトテニスの審判員資格認定

- ・公認審判員規程に基づき、資格認定を行った。(別表 5)
- ・1 級審判員の認定(新規・更新)のための検定会および研修会を実施した。(別表 6)
- ・ソフトテニスハンドブック、採点表等を販売した(別表 7)
- ・有資格審判員の増加および審判員資質向上のため「全国審判委員長会議」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により中止した。

9. ソフトテニス用具・用品、施設認定

- ・公認事業者の新規公認 事業者名:プーマジャパン株式会社 用具用品:ユニフォーム
- ・公認事業者の追加公認 事業者名:株式会社ジャパーナ 用具用品:シューズ
- ・公認事業者の更新 令和元年度公認事業者一覧は〈別表 8〉のとおり。
- ・ラケットの証紙、ネットの証布を発行した。〈別表 9〉

10. ソフトテニスの医科学研究事業

- ・傷害の予防や健康増進のための研究を行った。
- ・ソフトテニスのメディカルサポートについての成果をスポーツ医科学国際会議(日本卓球協会主催)にて発表した。
- ・大会会場でトレーナーブースを設営した

第 16 回世界選手権大会日本代表予選会(三重県四日市市)

第 26 回全日本シングルス選手権大会(長崎県長崎市)

第 74 回天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会(岩手県北上市)

- ・トレーナーの発掘育成と資質向上のため「全国ソフトテニストレーナー研修会」を開催し、発掘と資質向上を図った。

期日:令和 2 年 2 月 22 日(土)・23 日(日)

会場:四日市ドーム(三重県四日市市)

参加数:29 名

- ・コンディショニングについて、ジュニア、中学、高校の登録団体の指導者に対してアンケート調査を実施した。
- ・アンチ・ドーピング検査への NF-Rep を派遣した。
- ・アンチ・ドーピング検査については、スポーツ振興くじ助成金の対象事業として 149,000 円の助成を受けた。
 - ・第 26 回 全日本シングルスソフトテニス選手権大会
 - ・第 74 回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本ソフトテニス選手権大会
 - ・第 65 回 全日本インドアソフトテニス選手権大会
- ・アウトリーチ活動を競技者育成プログラム Step-4(宮崎県宮崎市)において実施し、アンチ・ドーピングの啓発を行った。この活動については、スポーツ振興くじ助成金の対象事業として 361,000 円の助成を受けた。
- ・日本アンチ・ドーピング機構主催の研修会等に参加し、教育活動に向けた研修を受けた。
- ・医科学研究報告書を作成し、加盟団体および関係者に配布した。

II ソフトテニスの競技力向上事業

1. ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査

(1) 競技力向上事業

① 競技者育成プログラム

一貫指導システムの構築を図り、競技者育成プログラムを Step1 から Step5 の過程を経て実施することにより、競技力を向上させた。Step-1 から Step-3 は(独法)スポーツ振興くじ助成金対象事業、Step-4 はスポーツ拠点化事業として実施した。

・Step-1,2 47 都道府県で強化練習会・選考会を実施し、400,000 円を助成した。

・Step-3 U-14/U-17/U-20 の男女が 8 ブロックで別表のとおり行われ、強化練習会・選考会を実施した。

〈別表 10〉

※Step-1～3 については、スポーツ振興くじ助成金の対象事業として 52,190,000 円の助成を受けた。

- ・第 14 回ソフトテニスジュニアジャパンカップ「競技者育成プログラム(Step-4)」を下記のとおりに実施した。

期 日: 11 月 22 日・23 日(強化練習会兼選考会)

11 月 24 日・25 日(第 14 回ジュニアジャパンカップ)

会 場： 宮崎市生目の杜運動公園テニスコート・清武総合公園第2テニスコート
選 手： U-14(男子:40名・女子:42名)計82名
 U-17(男子:48名・女子:48名)計96名
 U-20(男子:46名・女子:50名)計96名
指導者： 24名(各カテゴリーの男女別に名)
役員・補助員:129名

②強化合宿

- ・日本代表チーム及びナショナルチーム強化合宿を実施した。(別表11)
- ・全日本アンダーチームの強化合宿を実施した。(別表12)
- (公財)日本オリンピック委員会より11,550,000円の補助を受けて実施した。

③競技力向上のため国際大会に選手を派遣した。(別表13)

④強化委員および強化スタッフを次のとおり各種大会に派遣した。(別表14)

⑤医科学委員会との連携

ア. 強化合宿において講義を行った。

イ. 国内大会への派遣および国際大会への帯同を行った。

- ・全日本インドア選手権大会
- ・チャイナカップ(中国)
- ・第16回世界選手権大会日本代表チーム現地合宿(中国)
- ・第16回世界選手権大会(中国)

ウ. 競技力向上のための医科学サポート

- ・国内大会および国際大会での情報収集とゲーム分析について、データおよび映像をフィードバックし強化事業に活用した。
- ・強化合宿に内科および整形外科の医師各1名を派遣しメディカルチェックと身体管理の指導を行った。
- ・強化合宿に管理栄養士を派遣し「スポーツ栄養」の講義を行った。
- ・合宿中の食事について献立作成を行い、栄養状態改善に努めた。
- ・強化選手に対し栄養調査を実施し、改善点をフィードバックした。
- ・強化合宿においてアンチ・ドーピング教育を行った。
- ・強化合宿においてスポーツ心理学の講義を行った。
- ・トータルスポーツクリニックは新型コロナウイルス感染拡大の状況により中止となった。

(2) 医科学研究調査

- ・競技者育成プログラム Step-3、4 にトレーナーを派遣した。
- ・強化合宿および大会において撮影、分析、フィードバックを行った。
- ・トレーニングの指標とするため、合宿中の心拍数測定を行い、ウォーミングアップ、練習、試合の強度を客観的に表した。
- ・試合中の発話内容を記録しコミュニケーション状況を分析、改善につなげた。
- ・過去の国際大会の映像分析結果を強化合宿に提供した。

2. ソフトテニスの指導者育成

(1) 指導者養成事業

- ①コーチ1(旧指導員)、コーチ2(旧上級指導員)の専門科目カリキュラムを作成した。
- ②コーチ1(旧指導員)養成講習会(専門科目)が下記の道県で開催された。

北海道、秋田県、石川県、福岡県、大分県

③コーチ2(旧上級指導員)養成講習会専門科目が下記の県で開催された。

青森県、福岡県

④コーチ1(旧:指導員)養成マニュアル改訂版を作成した。

⑤コーチ1(旧:指導員)専門学校対象養成講習会を下記会場で実施した。

履正社スポーツ専門学校

⑥ソフトテニス未経験顧問(一般指導者を含む)を対象とした講習事業の方策を検討した。

⑦公認スポーツ指導者制度の変更に伴うスタートコーチのカリキュラム(共通・専門科目)を作成した。

(2) 全国小学生・中学生・高校生指導者の合同研修会

本年の研修会については、初心者向けと競技力向上目的の2コースに分けた実技指導を実施した。

・日 程:令和2年1月11日(土)・12日(日)

・場所:ホテルグランビア和歌山、和歌山県立体育館

・参加人数:日本連盟(役員・指導者)17名、加盟団体代表136名

・研修内容

ア. 令和2年度事業計画及びソフトテニスの現状と課題について

イ. フェアプレイ、マナーについて

ウ. 実技指導

(初心者向け指導方法について、競技力向上を目指した指導方法について)

日本スポーツ振興センターより1,062,000円の助成金を受けて実施した。

Ⅲ. ソフトテニスの国際振興事業

1. ソフトテニスの国際振興

(1) 国際普及活動の推進

①アジアソフトテニス連盟(ASTF)ミーティング(2019. 11/21～23 マレーシア、コタキナバル)に会長(ASTF 副会長)と専務理事(ASTF 常務理事)を派遣した。

②国際ソフトテニス連盟(ISTF)総会(中国 台州市)において、ASTFより提案されたアウトコートサイズ変更が承認された。

③ラケット・ボールの無償提供を実施し、支援を行った。(ボール111ダース、ラケット20本)

④国際普及親善活動に結びつく、下記の道府県加盟団体等の活動に対する「国際親善大会補助費」を助成した。

香川県連盟、山口県連盟、滋賀県連盟、福岡県連盟、兵庫県連盟、広島県連盟、
福井県連盟、京都府連盟、宮崎県連盟、北海道連盟、日本学生連盟

⑤海外大会に個人参加する選手に対して助成した。

神奈川県小学生チーム、日本学生ソフトテニス連盟チーム、東邦ガス(男子)チーム、東芝姫路(女子)チーム、愛知県・奈良県混成小学生チーム

⑥パキスタン連盟の要請により、研修会開催のため日本連盟より1,500ドルを支援した。

⑦海外国際大会への役員派遣を行った。

・第18回チャイナカップ(6/10～6/17)(中国・台州市)

・コリアカップ2019(7/8～7/14)(韓国・安城市)

・第1回アジアジュニア選手権大会(8/26～8/31)(フィリピン・ブラカン州)

・第1回アジア大学選手権大会(8/31～9/4)(フィリピン・ブラカン州)

- ・中華台北花蓮カップ(9/19～9/23) (中華台北・花蓮)
- ・第16回世界ソフトテニス選手権大会(10/25～11/1) (中国・台州市)

⑧ワールドマスターズゲームズ 2021 組織委員会担当者とともに世界選手権大会会場において各国への大会 PR を行い参加者増に向けて活動した。

(2) 国際大会の開催促進

- ・第1回アジアジュニア選手権大会(フィリピン・ケソン市)の企画・立案・開催に貢献した。
- ・第1回アジア大学生選手権大会(フィリピン・ケソン市)の企画・立案・開催に貢献した。
- ・第9回アジア選手権大会(2020年)への開催準備に協力した。

(3) 国際組織(ISTF、ASTF)への活動

- ・アウトコートサイズのルール変更を、ASTF に働きかけ、ISTF 総会にて承認された。
- ・アジア連盟のホームページに海外大会情報や結果を積極的に提供した。

〔各事業を推進するための組織と財政の強化、共通施策〕

I. 組織と財政の強化

1. 青少年の健全育成と環境教育

(1) 青少年の健全育成

「環境宣言『来た時よりも美しく』 フェアプレイ宣言『ありがとう あなたの笑顔とそのマナー』」の横断幕の日本連盟主催大会会場及び都道府県加盟団体大会での掲示やプログラムへの掲載を行い、環境とマナーの向上を図った。

(2) 環境問題への取り組み

- ・日本オリンピック委員会主催の環境と地域セミナーに参加した。
- ・日本オリンピック委員会発行の「JOC スポーツ環境専門部会活動報告書」にソフトテニスの取り組みを掲載した。
- ・日本スポーツ協会主催の「フェアプレイについて考える JSPO・NF 会議 2019」に参加し他競技とフェアプレイを共有し、当連盟のマナーBOOK や横断幕、マナーチェックシートなどの取り組みを発表した。
- ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)運動を研究し推進していくこととした。

(3) マナーBOOK の活用

マナーBOOK をホームページ掲載し活用を推進した。大会プログラム等に掲載できるよう抜粋版を作成し、各加盟団体に活用を促した。

(4) マナーチェックシートの分析

マナーチェックシートの集約を行い、分析を開始し、マナー向上に役立てることとした。

2. 暴力根絶の徹底

「公益財団法人日本スポーツ協会及び加盟団体における倫理に関するガイドライン」に従い、「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」の精神に則り、暴力の根絶に向けた推進を行っている。

3. 競技人口の増加対策

- (1) 小学生、中学生、高校生、大学生の各対策プロジェクトにおいて課題の整理や現状把握のための検討を行った。
- (2) 大学スポーツの環境について、各大学にアンケートを実施した。
- (3) 日本学生連盟、東日本学生連盟、西日本学生連盟の理事長と環境改善のための意見交換を行った。

4. 会員登録制度の推進

- (1) 会員登録手続きの効率化

①会員登録システムの活用

- ・会員登録、審判および技術等級認定との連動など事務効率化を図った。
- ・会費および大会参加料等の早期かつ正確な納付による円滑で正確な資金管理を行った。

②事務負担の軽減

- ・システム活用により加盟団体関係者の負担軽減となった。
- ・会員証及び会員報を各団体へ直接送付した。

(2) 会員報の発行

年 2 回発行し、会員登録料の使途及び日本連盟の情報を会員に周知した。

(3) 登録状況の把握と改善

- ・加盟団体別及び階層別の登録状況を把握し、年度別登録人数の推移等、登録状況を精査し今後の対策を協議した。

(4) 傷害補償制度の推進

より利用しやすい制度への検討を行った。

5. 資産取得

平成 25 年からの計画であった資産(テニスコート)として福島県東白川郡棚倉町の「リゾートスポーツプラザ ルネサンス棚倉」内のハードコート 12 面の敷地を購入した。令和 2 年度において改修工事等の整備を行い、ソフトテニスの普及振興および競技力向上の拠点とする。

6. 長期基本計画の推進

20 年先を見据えた「未来構想」及び 5 年間を計画期間とする次期「中期基本計画」の策定に向けて準備し、その一環として現計画の評価を実施するため、各委員会・部会の自己評価を実施した。

〔庶務事項〕

1. 会議等の開催に関する事項

- (1) 評議員会 〈別表 15〉
- (2) 理事会 〈別表 16〉
- (3) 代表理事・業務執行理事合同会議 〈別表 17〉
- (4) 業務執行理事会議 〈別表 18〉
- (5) 専門委員会 〈別表 19〉
- (6) 役員選考委員会 〈別表 20〉
- (7) 会計監査 〈別表 21〉

2. 役員・事務局職員等に関する事項 〈別冊:役員・職員等名簿〉

3. 会員登録に関する事項

会員登録数は〈別表 22〉のとおり。

4. 分担金に関する事項

- (1) 支部分担金 一律 150,000 円×50 支部 7,500,000 円
- (2) 会員登録料は〈別表 23〉のとおり。
- (3) 維持会費

ア. 公認メーカー 24 社:延 48 社 (前年度 50 社) 〈別表 24〉

イ. 施設業者 7 社:延べ 8 社 (前年度 8 社) 〈別表 25〉

ウ. 一般 77 件 計 1,040,000 円 (前年度 61 件 計 790,000 円) 〈別表 26〉

5. 補助金・助成金等に関する事項

- (1) 補助金 合計額 12,355,503 円（前年度 11,517,000 円）〈別表 27〉
- (2) 助成金 合計額 58,801,350 円（前年度 62,895,860 円）〈別表 28〉
- (3) 交付金 合計額 9,366,400 円（前年度 11,435,600 円）〈別表 29〉
- (4) 委託金 合計額 1,244,270 円（前年度 754,881 円）〈別表 30〉

6. 寄付金・協賛金に関する事項

- (1) 協賛金 合計額 45,250,000 円（前年度 39,750,000 円）〈別表 31〉

7. 傷害補償制度の給付金に関する事項

37 件、1,188,000 円を給付した。（前年度：34 件 1,221,000 円）〈別表 32〉

(別表 1)

主催大会	開催地	日程
第16回世界選手権大会日本代表予選会	三重県四日市市	令和元年 5 月 5 日(日)・5 月 6 日(月)
第26回全日本シングルス選手権大会	長崎県長崎市	令和元年 5 月 18 日(土)・5 月 19 日(日)
第36回全日本小学生選手権大会	栃木県那須塩原市	令和元年 7 月 25 日(木)～7 月 28 日(日)
男子第64回・女子第63回 全日本実業団選手権大会	鹿児島県鹿児島市	令和元年 7 月 26 日(金)～7 月 28 日(日)
第23回全日本シニア選手権大会	京都府福知山市他	令和元年 9 月 13 日(金)～9 月 15 日(日)
第47回全日本社会人選手権大会	山形県山形市・ 天童市・酒田市	令和元年 9 月 14 日(土)・9 月 15 日(日)
JOC ジュニアオリンピックカップ大会 第26回全日本ジュニア選手権大会	広島県広島市	令和元年 9 月 21 日(土)・9 月 22 日(日)
第74回天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	岩手県北上市	令和元年 10 月 18 日(金)～10 月 20 日(日)
第33回日本実業団リーグ	京都府福知山市	令和元年 10 月 25 日(金)～10 月 27 日(日)
第26回全日本クラブ選手権大会	千葉県白子町	令和元年 10 月 26 日(土)・10 月 27 日(日)
第37回日本リーグ	愛知県豊田市	令和元年 12 月 5 日(木)～12 月 8 日(日)
第65回全日本インドア選手権大会	大阪府大阪市	令和 2 年 2 月 2 日(日)
日本リーグ入替戦	愛知県名古屋市	令和 2 年 2 月 8 日(土)・2 月 9 日(日)

スポーツ拠点化事業	開催地	日程
第14回ジュニアジャパンカップ 「競技者育成プログラム(Step-4)」	宮崎県宮崎市	令和元年 11 月 22 日(金)～11 月 25 日(月)
第31回都道府県対抗全日本中学生大会	三重県伊勢市	令和 2 年 3 月 26 日(木)～3 月 28 日(土)
第19回全国小学生大会	千葉県白子町	令和 2 年 3 月 29 日(日)～3 月 31 日(火)

共催大会	開催地	日程
第48回ハイスchoolジャパンカップ	北海道札幌市	令和元年 6 月 19 日(水)～6 月 23 日(日)
西日本シニア選手権大会	奈良県明日香村	令和元年 6 月 22 日(土)・6 月 23 日(日)
第74回東日本選手権大会	静岡県静岡市・浜松市	令和元年 7 月 20 日(土)・7 月 21 日(日)
第73回西日本選手権大会	大阪府大阪市	令和元年 7 月 20 日(土)・7 月 21 日(日)
全日本高校選手権大会(男子)	宮崎県宮崎市	令和元年 7 月 25 日(木)～7 月 28 日(日)
全日本高校選手権大会(女子)	宮崎県宮崎市	令和元年 7 月 29 日(月)～8 月 1 日(木)
第46回全日本レディース大会(個人戦)	青森県青森市	令和元年 7 月 24 日(水)～7 月 26 日(金)
全日本学生選手権大会	岩手県北上市・盛岡市	令和元年 8 月 5 日(月)～8 月 10 日(土)
第50回全国中学校大会	京都府宇治市・城陽市	令和元年 8 月 20 日(火)～8 月 22 日(木)
第41回全日本レディース決勝大会(団体戦)	愛知県一宮市	令和元年 8 月 27 日(火)～8 月 29 日(木)
日本スポーツマスターズ2019	岐阜県瑞浪市・土岐市	令和元年 9 月 21 日(土)～9 月 22 日(日)
第74回 国民体育大会	茨城県北茨城市	令和元年 9 月 28 日(土)～10 月 2 日(水)
第45回全日本高校選抜大会	愛知県豊田市	令和 2 年 3 月 28 日(土)～3 月 30 日(月)

国際大会	開催地	日程
第27回日・韓・中ジュニア交流競技大会	中国・長沙	令和元年 8 月 23 日(金)～8 月 29 日(木)
第16回世界選手権大会	中国・台州	令和元年 10 月 25 日(金)～11 月 1 日(金)

その他	開催地	日程
第32回ねりんピック2019	和歌山県白浜町	令和元年11月9日(土)～11月12日(火)

(注)大会参加者数は〈別表33〉に掲載

〈別表2〉

地域等における競技会開催補助(敬称略)

事業名	補助金額
全日本大学選手権大会	1,000,000 円
全日本高校選手権大会	1,000,000 円
全国中学校大会	1,000,000 円
東日本選手権大会	500,000 円
西日本選手権大会	500,000 円
全日本学生インドア大会	500,000 円
全日本学生王座決定戦	500,000 円
全日本レディース大会(個人戦)	500,000 円
全日本レディース決勝大会	500,000 円
ハイスクールジャパンカップ	300,000 円
9 地区選手権大会	9 地区×200,000 円
地区高校選抜大会	9 地区×100,000 円
地区中学選手権大会	8 地区×100,000 円
全日本シニア東西対抗大会	400,000 円
全日本学生同好会大会	200,000 円

〈別表3〉

ナショナルチーム選手派遣事業(敬称略)

派遣先	期日	派遣選手名
愛媛県	令和元年7月6日・7日	石井友梨 植田幸寿保
茨城県	令和元年8月4日・5日	中川瑞貴 芝崎百香
石川県	令和元年8月10日・11日	中本圭哉 鈴木琢巳
秋田県	令和元年10月5日・6日	笠井佑樹 尾上胡桃
鹿児島県	令和元年11月30日・12月1日	増田健人 星野雄慈
長崎県	令和元年12月21日・22日	林田リコ
広島県	令和元年12月22日	石井友梨 植田幸寿保

〈別表4〉

技術等級認定者数

(数値:名)

等級	名誉 指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1 級	2 級	3 級	4 級	計
令和元年度	0	1	84	11	362	17	300	1,246	1,540	2,934	6,495
平成30年度	0	0	91	14	364	15	347	1,248	1,701	2,873	6,653

(注)令和元年度都道府県別認定者数は〈別表34〉に掲載

〈別表 5〉

(1) 公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値:名)

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
マスターレフェリー		58	60	78	60	40	58
マスターアンパイヤー		42	70	62	72	87	62
1 級		248	284	282	235	284	223
2 級	新規(一般・高校)	17,963	18,392	19,274	18,488	17,421	16,689
	更新(一般)	4,735	5,569	5,051	5,490	5,036	5,274
	移行(高校)	6,787	7,759	8,069	8,193	8,606	8,149
ジュニア		39,657	39,321	40,171	35,524	36,721	36,068
計		69,490	71,455	72,987	68,062	68,195	66,523

(注) 令和元年度都道府県別認定者数は 〈別表 35〉に掲載

〈別表 6〉

1 級審判員の検定会・研修会

	実施期日	会 場	参加者
検定会	令和 2 年 2 月 16 日(日)	三重県・鈴鹿スポーツガーデン * 令和元年度は東西同時開催	97 人
研修会	令和元年 11 月 30 日(土)	栃木県・今市青少年スポーツセンター	24 人
	令和 2 年 1 月 5 日(日)	佐賀県・唐津市文化体育館	24 人
	令和 2 年 1 月 19 日(日)	石川県・北陸電力石川体育館	22 人
	令和 2 年 1 月 25 日(土)	広島県・東広島運動公園体育館	13 人
	令和 2 年 2 月 25 日(土)	香川県・善通寺市民体育館	9 人
	令和 2 年 2 月 11 日(火・祝)	岩手県・北上総合体育館	49 人
	令和 2 年 2 月 22 日(土)	岐阜県・瑞浪市民体育館	25 人
	令和 2 年 2 月 24 日(月・祝)	滋賀県・滋賀県立体育館(ウカルちゃんアリーナ)	31 人

〈別表 7〉

ソフトテニスハンドブック、ジュニア審判マニュアル等

(数値:冊/枚)

年 度	ソフトテニス ハンドブック	採点票	オーダー票	イエローカード等	ジュニア審判 マニュアル
令和元年度	25,589	3,766	1,007	25,589	40,725
平成 30 年度	23,634	2,629	847	23,719	38,800

〈別表 8〉

公認事業者名(用具用品)

	対象	公認メーカー
用具用品	ラケット 7 社	カワサキ・ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・住友ゴム工業・グローブライト・ジャパーナ
	ボール 3 社	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・住友ゴム工業
	ネット 9 社	鐘屋産業・アシックスジャパン・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ホールディングス・高須賀・ティエヌネット・鶴沢ネット・豊貿易
	ストリング 5 社	ゴーセン・トアルソン・ヨネックス・住友ゴム工業・ミズノ
	ユニフォーム 12 社	カワサキ・ミズノ・昭和ホールディングス・ヨネックス・ゴーセン・アシックスジャパン・住友ゴム工業・アディダスジャパン・グローブライト・ニューバランスジャパン・ディーエムアール・プーマジャパン
	シューズ 12 社	アシックスジャパン・ヨネックス・アディダスジャパン・住友ゴム工業・ミズノ・グローブライト・ゴールドウイン・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・ディーエムアール・フォワードアパレルトレーディング・ジャパーナ
施設・製造	砂入り人工芝製造業者 7 社	住友ゴム工業・積水樹脂・大塚ターフテック 東レアムテックス・ダイヤテックス・大嘉産業・泉州敷物
	人工クレーコート製造業者 1 社	大塚ターフテック

〈別表 9〉

ラケットの証紙およびネット証布の発行

(数値:枚)

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
ラケット証紙	369,825	429,345	359,560	378,710	314,180	333,465
ネット証布	2,800	2,650	2,700	3,000	2,150	3,030

〈別表 10〉

競技者育成プログラム Step-3

ブロック名	期 日	参加 選手数	各支部 代表	カテゴリー別 指導者	ブロック 運営委員	データ 管 理	日本連盟 運営委員	総 計
北海道・東北(宮城県・仙台市)	8/30～ 9/1	168	7	28	4	4	2	213
関 東 (山梨県・笛吹市)	8/23～ 25	189	8	32	2	4	4	239
北信越 (富山県・高岡市)	8/23～ 25	117	5	19	4	4	3	152
東 海 (三重県・四日市市)	9/6～8	96	4	15	4	4	2	125
近 畿 (和歌山県・和歌山市)	8/23～ 25	144	6	24	3	4	3	184
中 国 (広島県・三次市)	8/30～ 9/1	112	5	20	4	4	2	147
四 国 (徳島県・徳島市)	8/30～ 9/1	96	4	16	2	4	2	124
九 州 (熊本県・熊本市)	8/30～ 9/1	183	8	32	3	4	3	233
合 計		1,105	47	186	26	32	21	1,417

〈別表 11〉

日本代表チームおよびナショナルチーム(男子・女子)強化合宿

		回数	実施期日	参加者(名)		会 場
				スタッフ	選手	
日本代表		①☆	令和元年 7 月 4 日～9 日	6	12	三重県・四日市市
		②☆	令和元年 9 月 19 日～23 日	6	12	三重県・四日市市
		③	令和元年 10 月 21 日～24 日	6	12	中国・台州市
ナショナル	男子	1☆	平成 31 年 4 月 18 日～23 日	3	14	兵庫県・三木市
		2	令和 2 年 3 月 5 日～10 日	－	－	新型コロナウイルス感染 拡大の影響で中止
	女子	1☆	平成 31 年 4 月 27 日～5 月 2 日	3	18	大阪府・大阪市
		2	令和 2 年 3 月 25 日～29 日	－	－	新型コロナウイルス感染 拡大の影響で中止

〈別表 12〉

全日本 U-14.U-17.U-20(男子、女子)強化合宿

		カテゴリー	実施期日	参加者(名)		会 場
				スタッフ	選手	
男子	U-20	1☆	令和元年 6 月 17 日～21 日	3	19	長崎県・五島市
		2	令和 2 年 2 月 18 日～23 日	3	16	三重県・四日市市

	U-17	1☆	平成 31 年 4 月 10 日～14 日	3	19	福島県・棚倉町
		②(日韓中 ジュニア代表 チーム)	令和元年 8 月 20 日～22 日	2	6	神奈川県・横浜市
		3☆	令和 2 年 2 月 18 日～23 日	3	16	三重県・四日市市
	U-14	①	令和元年 5 月 25 日～30 日	3	21	三重県・鈴鹿市
		②☆	令和 2 年 2 月 18 日～23 日	3	20	三重県・四日市市
女子	U-20	1☆	令和元年 6 月 20 日～23 日	3	17	香川県・丸亀市
		2☆	令和 2 年 2 月 21 日～24 日	3	12	兵庫県・三木市
	U-17	1☆	平成 31 年 4 月 9 日～14 日	3	20	三重県・鈴鹿市
		②(日韓中 ジュニア代表 チーム)	令和元年 8 月 20 日～22 日	2	6	神奈川県・横浜市
		3	令和元年 2 月 8 日～13 日	3	20	三重県・四日市市
	U-14	①☆	令和元年 5 月 25 日～30 日	3	21	三重県・鈴鹿市
		2	令和元年 2 月 8 日～13 日	3	20	三重県・四日市市

(注 1) ☆印は(公財)日本オリンピック委員会の補助事業である。(11,550,000 円)

(注 2) ○印の合宿は男女合同で実施した。

〈別表 13〉

国際大会への選手派遣 (敬称略)

大会名	第 18 回チャイナカップ
開催国	開催国 中華人民共和国
期日	6 月 10 日～17 日
派遣者	団長 野際照章(日本連盟専務理事) 男子監督 中堀成生(NTT西日本) 女子監督 菅野創世(川口市役所) トレーナー 深間内誠(鈴鹿回生病院) 桑原亜香音(くぼた接骨院) 男子選手 船水颯人(ヨネックス) 中本圭哉(福井県庁) 鈴木琢巳(福井県庁) 増田健人(和歌山県庁) 九島一馬(ミズノ) 女子選手 黒木瑠璃華(ヨネックス) 尾上胡桃(日体桜友会) 貝瀬ほのか(ヨネックス) 大槻 麗(ダンロップ) 那須暁帆(アドマテックス) 志牟田智美(東芝姫路) 泉谷朋香(東芝姫路)
参加国	日本、韓国、マレーシア、中華台北
成績	国別対抗戦 男子優勝、女子優勝 ダブルス 男子優勝 中本圭哉、鈴木琢巳ペア 女子優勝 貝瀬ほのか、黒木瑠璃華ペア 2 位 志牟田智美、泉谷朋香ペア 3 位 那須暁帆、大槻麗ペア ミックスダブルス 優勝 船水颯人、泉谷朋香ペア 2 位 中本圭哉、志牟田智美ペア 3 位 九島一馬、貝瀬ほのかペア

大会名	コリアカップ2019
開催国	大韓民国
期日	7月8日～14日
派遣者	団 長 野際照章(日本連盟専務理事) 男子監督 堀 晃大(NTT西日本) 女子監督 合田清志(京都市役所) トレーナー 中野道治(スポーツインテリジェンス) 男子選手 北本達己(明治大学) 林湧太郎(NTT西日本) 北野亮介(ワタキューセイモア) 田中駿平(明治大学) 高倉和毅(早稲田大学) 大友 駿(東邦ガス) 女子選手 笠井佑樹(日本体育大学) 宮下こころ(明治大学) 久保晴華(日本体育大学) 早川日向(ナガセケンコー) 黒田奈穂子(日本体育大学) 桑名優依(日本体育大学)
参加国	日本、韓国、中国、中華台北、タイ、インドネシア、フィリピン、モンゴル、マレーシア、ネパール、カンボジア
成績	団体戦 女子:第3位 ダブルス 女子:第3位 笠井佑樹、久保晴華 シングルス 女子:ベスト8 早川日向
大会名	第1回アジアジュニア選手権大会
開催国	フィリピン
期日	8月26日～31日
派遣者	団 長 野際照章(日本連盟専務理事) 男子監督 橋本康徳(西総合支援学校) 女子監督 田中 弘(田中企画) トレーナー 阪根ちひろ(履正社スポーツ専門学校) 男子選手 國松 巧 (千田中学校) 藤井智暉(塩田中学校) 野口 快 (芝東中学校) 菊山太陽(西和中学校) 中別府凌(高田商業高校) 荒木 駿(羽黒高校) 上岡俊介(同志社大学) 広岡 宙(NTT西日本) 女子選手 近坂優衣(L.C.C) 濱口芽花(小俣中学校) 石山実来(巻東中学校) 杉本 希(広島中学校) 浪岡菜々美(三重高校) 吉田滢奈(東京女子体育大学) 早川日向(ナガセケンコー) 久保晴華(日本体育大学)
参加国	カンボジア、中国、北朝鮮、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、モンゴル、ネパール、タイ、中華台北、フィリピン
成績	成 績 男子ダブルス U-12 第3位 國松巧、藤井智暉ペア U-15 優勝 野口快、菊山太陽ペア U-18 第3位 中別府凌、荒木駿ペア U-21 優勝 上岡俊介、広岡宙ペア 男子シングルス U-12 優勝 藤井智暉 ベスト8 國松巧 U-15 優勝 野口快 ベスト8 菊山太陽 U-18 第3位 中別府凌 ベスト8 荒木駿 U-21 準優勝 広岡宙 ベスト8 上岡俊介

	女子ダブルス U-12 準優勝 近坂優衣、濱口芽花ペア U-15 優勝 石山実来、杉本希ペア U-18 優勝 浪岡菜々美、吉田滯奈ペア U-21 優勝 早川日向、久保晴華ペア 女子シングルス U-12 優勝 近坂優衣 準優勝 濱口芽花 U-15 優勝 石山実来 準優勝 杉本希 U-18 優勝 浪岡菜々美 第3位 吉田滯奈 U-21 優勝 早川日向 準優勝 久保晴華
大会名 開催国 期日 派遣者	第1回アジア大学選手権大会 フィリピン 8月31日～9月4日 団 長 野際照章(日本連盟専務理事) 男子監督 堀 晃大(NTT西日本) 女子監督 伊加英隆(尽誠学園高等学校) トレーナー 小亀裕美(亀井整形外科医院) 男子選手 上岡俊介 (同志社大学) 高倉和毅(早稲田大学) 谷口 睦 (関西大学) 増田祐太(関西大学) 福田成海 (法政大学) 斎藤龍二(明治大学) 女子選手 梶尾明日香(立命館大学) 黒田奈穂子(日本体育大学) 片野理音(東京女子体育大学) 久保晴華(日本体育大学) 古田麻友(関西大学) 中別府瑞希(関西大学)
参加国	カンボジア、中国、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、モンゴル、ネパール、タイ、中華台北、フィリピン
成績	女子ダブルス 優勝 黒田奈穂子、久保晴華ペア 準優勝 片野理音、中別府瑞希ペア 第3位 梶尾明日香、古田麻友ペア 女子シングルス 優勝 久保晴華 ベスト8 黒田奈穂子 国別対抗戦 男子準優勝 女子優勝
大会名 開催国 期日 派遣者	第16回世界ソフトテニス選手権大会 中華人民共和国 10月25日～11月1日 団 長 北本英幸(日本連盟理事) 男子監督 中堀成生(NTT西日本) 男子コーチ 川村達郎(宇部興産) 男子トレーナー 田中京介(せんだメディカルクリニック) 女子監督 斉藤広宣(松戸市役所) 女子コーチ 菅野創世(川口市役所) 女子トレーナー 川上晃司(スポーツインテリジェンス) 男子選手 内本隆文(早稲田大学) 船水颯人(ヨネックス) 長江光一(NTT西日本) 丸中大明(NTT西日本) 中本圭哉(福井県庁) 鈴木琢巳(福井県庁) 女子選手 林田リコ(東京女子体育大学) 島津佳奈(東京女子体育大学) 高橋乃綾(どんぐり北広島) 半谷美咲(どんぐり北広島)

参加国	黒木瑠璃華(ヨネックス) 尾上胡桃(日体桜友会)
	総務 土井内友巳奈(ゆらく接骨院)
成績	医科学 工藤敏巳(日本連盟スポーツ科学部会)
	永野康治(日本連盟スポーツ科学部会)
成績	オーストラリア、カンボジア、カナダ、中国、チェコ、ドイツ、ハンガリー、インドネシア、インド、日本、カザフスタン、韓国、ラオス、マレーシア、モンゴル、ネパール、パキスタン、フィリピン、ポーランド、北朝鮮、ロシア、タイ、タジキスタン、中華台北、アメリカ、ベトナム
	国別対抗戦 男子優勝、女子優勝
成績	女子ダブルス 優勝:高橋乃綾、半谷美咲ペア
	準優勝:林田リコ・島津佳奈ペア
成績	女子シングルス 第3位:林田リコ
	ミックスダブルス 第3位:内本隆文、黒木瑠璃華ペア
大会名	2019ワールドソフトテニスワタキューカップ in 沖縄オープン大会
開催国	日本
期日	11月8日～11日
派遣者	団長 野際照章(日本連盟専務理事)
参加国	男子選手 九島一馬(ミズノ) 上岡俊介(同志社大学)
	女子選手 尾上胡桃(日体桜友会) 笠井佑樹(日本体育大学)
成績	日本、ブラジル、チェコ
	男子ダブルス優勝 上岡俊介、九島一馬 ペア
成績	女子シングルス 準優勝 尾上胡桃

〈別表 14〉

強化委員・強化スタッフの大会視察派遣(敬称略)

大会名	派遣者
世界選手権大会日本代表予選会	中堀成生、川村達郎、斉藤広宣、菅野創世、合田清志
全日本シングルス選手権大会	中堀成生、川村達郎、斉藤広宣、菅野創世、小野寺剛、伊加英隆
ハイスクールジャパンカップ	小野寺剛、高橋茂
全日本高校選手権大会	高橋茂
全日本小学生大会	松元誠二
全国中学校大会	松元誠二
JOC ジュニアオリンピックカップ	橋本康徳、松元誠二、合田清志、高橋茂、田中弘、原口増美
全日本選手権大会	川村達郎、伊加英隆、原口増美、松元誠二
全日本インドア選手権大会	中堀成生、斉藤広宣

〈別表 15〉

評議員会

会議名	期日	会場
定時評議委員会	令和元年6月9日(日)	アワーズイン阪急 シングル館 3階 A・B 会議室
臨時評議委員会	令和元年12月15日(日)	ワタキューセイモア(株) 5階会議室 A・B・C
決議の省略	令和2年3月5日(木)	(書面による提案)

〈別表 16〉

理事会

会議名	期日	会場
第 1 回理事会	令和元年 5 月 22 日(水)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第 2 回理事会	令和元年 6 月 8 日(土)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第 3 回理事会	令和元年 9 月 7 日(土)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第 4 回理事会	令和元年 11 月 3 日(日)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第 5 回理事会	令和元年 12 月 14 日(土)	ワタキューセイモア(株) 4 階会議室
第 6 回理事会	令和 2 年 2 月 22 日(土)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
決議の省略	令和元年 7 月 23 日(火)	(書面による提案)
決議の省略	令和 2 年 3 月 31 日(火)	(書面による提案)

〈別表 17〉

代表理事・業務執行理事合同会議

回数	期日	会場
第 1 回	平成 31 年 4 月 21 日(日)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第 2 回	令和元年 5 月 22 日(水)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第 3 回	令和元年 6 月 7 日(金)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第 4 回	令和元年 9 月 6 日(金)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第 5 回	令和元年 11 月 2 日(土)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第 6 回	令和元年 12 月 13 日(金)	ワタキューセイモア(株) 2 階ミーティングルーム A
第 7 回	令和 2 年 2 月 21 日(金)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室

〈別表 18〉

業務執行理事会議

回数	期日	会場
第 1 回	令和元年 10 月 14 日(月・祝)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第 2 回	令和 2 年 1 月 12 日(日)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第 3 回	令和 2 年 2 月 8 日(土)	露橋スポーツセンター会議室

〈別表 19〉

107

委員会・部会		開催日					
総務委員会		6/8	6/29				
	企画部会	5/23	1/28				
	会員登録制度部会	9/8					
	IT 部会	6/10	8/28	2/2			
審判委員会		11/16					
競技委員会		4/6	8/11				
	プログラム編成部会	4/6	4/25	6/22	8/1	8/10	8/23
		8/24	9/6	9/21	10/3	2/23	
	等級制度部会	5/11	2/29				
強化委員会		10/19	2/1				
	強化スタッフ部会	9/28	2/1				
指導委員会		4/20	8/3	10/6			
生涯スポーツ委員会		7/13	10/26				
	小学生部会	7/13	10/26				
	シニア部会	7/13	10/26				
国際委員会							

広報委員会		8/10	11/16	1/25			
	機関誌編集部	4/14	5/9	6/5	7/3	8/5	9/2
		10/7	11/6	12/2	1/9	2/5	
医科学委員会		1/26					
	医学部会	1/13					
	アンチ・ドーピング部会	9/23					
	トレーナー部会	9/22	9/23	1/26			
	スポーツ科学部会	1/26					
競技者資格委員会		7/17	8/19				
競技者育成プログラム推進委員会		11/30					
	マネージメント部会	2/1					
用具・用品・施設委員会		10/14					
環境・教育プロジェクト		6/15	10/5				
中学生対策プロジェクト							
高校生対策プロジェクト							
大学生対策プロジェクト		6/15	11/10				
資産取得プロジェクト		4/13	6/16	12/7			

〈別表 20〉

役員選考会委員会

会議名	期日	会場
役員選考委員会	令和 2 年 2 月 1 日	丸善インテックアリーナ大阪

〈別表 21〉

会計監査

対象	期日	会場
公認会計士 監査	令和元年 5 月 21 日	日本ソフトテニス連盟 会議室
	令和 2 年 1 月 24 日	日本ソフトテニス連盟 会議室
日本連盟監事 監査	令和元年 5 月 22 日	日本ソフトテニス連盟 会議室
	令和元年 12 月 24 日	日本ソフトテニス連盟 会議室

〈別表 22〉

会員登録数(10 年間の推移)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
令和元年度	11,713	44,799	18,101	247,103	79,834	933	7,591	410,074
平成30年度	11,543	45,457	18,720	253,099	83,464	1,014	7,614	420,911
平成29年度	11,278	46,143	19,568	268,007	85,176	1,069	7,876	439,117
平成28年度	11,073	46,346	19,728	280,857	85,632	1,037	7,945	452,618
平成27年度	10,572	46,683	19,412	288,530	84,365	1,023	7,690	458,275
平成26年度	9,963	47,230	17,566	289,506	82,964	1,056	7,669	455,954
平成25年度	9,268	48,324	17,260	286,326	81,402	1,037	7,610	451,227
平成24年度	8,751	49,279	17,174	284,478	82,510	1,005	7,800	450,997
平成23年度	7,771	50,221	17,298	284,886	81,730	918	8,076	450,900
平成22年度	6,885	51,525	18,083	285,617	83,555	950	8,492	455,107

(注)都道府県別会員数は 〈別表 36〉に掲載。

〈別表 23〉

会員登録料

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
令和元年度	11,713,000	44,799,000	9,050,500	123,551,500	39,917,000	466,500	3,795,500	233,293,000
平成 30 年度	11,543,000	45,458,000	9,360,000	126,550,000	41,732,000	507,000	3,806,500	238,955,500

〈別表 24〉

維持会費・公認メーカー 26 社:延 48 社(前年度 50 社) (単位:円)

	ラケット	ボール	ネット	ストリング	ユニフォーム	シューズ
令和元年度	7 社 700,000	3 社 8,280,000	9 社 900,000	5 社 3,300,000	12 社 13,920,000	12 社 5,640,000
平成 30 年度	8 社 800,000	3 社 8,280,000	9 社 900,000	5 社 3,300,000	13 社 15,080,000	12 社 5,760,000

〈事業者名〉

用具・用品	公認メーカー
ラケット 7 社	カワサキ・ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・住友ゴム工業・グローブライト・ジャパーナ
ボール 3 社	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・住友ゴム工業
ネット 9 社	鐘屋産業・アシックスジャパン・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ホールディングス・高須賀・ティエヌネット・鶴沢ネット・豊貿易
ストリング 5 社	ゴーセン・トアルソン・ヨネックス・ミズノ
ユニフォーム 12 社	カワサキ・ミズノ・昭和ホールディングス・ヨネックス・ゴーセン・アシックスジャパン・住友ゴム工業・アディダスジャパン・グローブライト・ニューバランスジャパン・ディーエムアール・プーマジャパン
シューズ 12 社	アシックスジャパン・ヨネックス・アディダスジャパン・住友ゴム工業・ミズノ・グローブライト・ゴールドウィン・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・ディーエムアール・フォワードアパレルトレーディング・ジャパーナ

〈別表 25〉

維持会費・施設業者 7 社:延べ 8 社(前年度 8 社) (単位:円)

年 度	砂入り人工芝	人工クレーコート
令和元年度	7 社 3,500,000	1 社 500,000
平成 30 年度	7 社 3,500,000	1 社 500,000

〈事業者名〉

施設・製造	業 者 名
砂入り人工芝製造業者 7 社	住友ゴム工業・積水樹脂・大塚ターフテック・東レアムテックス・ダイヤテックス・大嘉産業・泉州敷物
人工クレーコート製造業者 1 社	大塚ターフテック

〈別表 26〉

維持会費・一般 78 件 計 1,040,000 円 (前年度 61 件 計 790,000 円) (単位:円) (敬称略)

50,000	安道光二	京都	内田昌一	京都		
40,000	石川県連盟		丸菱産業			
30,000	笠井達夫	神奈川	ミズノ			
20,000	静岡県連盟		スポーツインテリジェンス		栃木県連盟	ナガセケンコー
	長野県連盟		三田倶楽部		ヨネックス	ルーセント

10,000	天野晴夫	三重	安藤 清	岐阜	安藤正美	香川	伊加英隆	香川
	石川雅利	千葉	井田博史	東京	井上清一	石川	井上 創	兵庫
	井上光子	千葉	今井誠則	広島	上山親子	大阪	運上琢論	北海道
	大野勝敏	埼玉	大房裕司	中体連	大前秀樹	広島	小川信也	岐阜
	越智克昌	愛媛	落合 護	高体連	小野尚彦	岡山	小原信幸	岡山
	金岡昭房	宮城	蒲原秀敏	広島	神崎公宏	三重	北村和久	三重
	北本英幸	石川	木原晴彦	広島	国島孝志	新潟	小林 正	静岡
	斉藤元三	愛知	佐藤栄一	群馬	佐藤健司	東京	篠邊 保	愛知
	白幡 光	山形	白水厚二	大分	鈴木敏雄	神奈川	鈴木正彦	群馬
	関川丈彦	新潟	高松政男	栃木	玉木 進	東京	霊池恵量	高体連
	丹崎健一	東京	津田 誠	愛知	長岡敏久	埼玉	中村 修	愛知
	中村 進	埼玉	中村正広	福岡	西村信寛	東京	西森卓也	奈良
	西田豊明	東京	原田公夫	鳥取	笛岡宣明	愛知	藤島淑子	神奈川
	星野 博	東京	堀越 浩	千葉	本田茂雄	宮城	宮崎正己	日本学連
	宮下恭子	大阪	森田賢二	兵庫	柳下秋久	東京	山下晴海	埼玉
	山本 毅	京都	吉田博紀	熊本	萬 正一	秋田	和歌浦京子	新潟

〈別表 27〉

補助金		合計額 12,355,503 円 (前年度 11,517,000 円)	(単位:円)
(公財)日本オリンピック委員会	選手強化事業	11,550,000	
長崎県スポーツコミッション	スポーツ合宿拠点づくり推進事業補助金	805,503	

〈別表 28〉

助成金		合計額 58,801,350 円 (前年度 62,895,860 円)	(単位:円)
(独法)日本スポーツ振興センター(スポーツ振興基金助成金)	競技会開催(全日本選手権大会)	2,261,000	
	競技会開催(JOC ジュニアオリンピックカップ/全日本ジュニア選手権大会)	993,000	
	指導者研修会	1,062,000	
	小計	4,316,000	
(独法)日本スポーツ振興センター(スポーツ振興くじ)	競技者育成プログラム(Step-1～Step-3)	52,190,000	
	ドーピング検査	149,000	
	ドーピング防止啓発活動推進	361,000	
	小計	52,700,000	
いきいき茨城ゆめ国体実行委員会	国民体育大会役員旅費	785,350	
(公財)ヨネックススポーツ財団	全日本若手キャンプ助成金 ※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により中止	0	
(公財)ミズノスポーツ振興財団	ジュニア育成に対する助成金	1,000,000	

〈別表 29〉

交付金 合計額 9,366,400 円 (前年度 11,435,600 円)		(単位:円)
(公財)日本オリンピック委員会	マーケティングプログラム交付金	8,771,000
	JOC ジュニア選手強化交付金	200,000
(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ運営補助交付金	395,400

〈別表 30〉

委託金 合計額 1,244,270 円 (前年度 754,881 円)		(単位:円)
(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ委託金	1,244,270

〈別表 31〉

協賛金 合計額 45,250,000 円 (前年度 39,750,000 円)		(単位:円)
ミズノ(株) ユニフォームオフィシャルサプライヤー協賛金		23,000,000
ミズノ(株) 国際振興協賛金		3,000,000
ミズノ(株) 全日本インドア選手権大会協賛金		250,000
(株)ゴーセン スtring オフィシャルサプライヤー協賛金		7,500,000
ナガセケンコー(株) 大会使用球協賛金		2,000,000
昭和ホールディングス(株) 大会使用球協賛金		2,000,000
住友ゴム工業(株) 大会使用球協賛金		2,000,000
(株)ジャパーナ シューズ追加公認		500,000
プーマジャパン(株) ユニフォーム新規公認		5,000,000

〈別表 32〉

傷害補償制度の給付金対象件数

37 件、1,188,000 円を給付した。(前年度:34 件 1,221,000 円) (単位:件)

年度	アキレス腱断裂	骨折	靱帯損傷	肉離れ	捻挫	その他	死亡	計
令和元年度	9	7	6	3	2	10	0	37
平成 30 年度	4	14	6	2	3	5	0	34

〈内訳〉

(単位:件)

傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	9						9
骨折	5				2		7
靱帯損傷	5			1			6
肉離れ	3						3
捻挫	2						2
その他	7			1	1	1	10
死亡							
計	31			2	3	1	37

〈別表33〉

大会一覧表

月	日	大会名	種別	会場	参加者数	
5	5・6	第16回 世界選手権大会日本代表予選会	男子シングルス	三重県四日市市	80	
			女子シングルス	四日市テニスセンター	80	
			小計		160	
	18・19	第26回 全日本シングルス選手権大会	男子シングルス	長崎県長崎市	248	
			女子シングルス	長崎市総合運動公園かきどまり庭球場	223	
			小計		471	
6	19・23	第48回 ハイスクールジャパンカップ	男子ダブルス	北海道札幌市 円山庭球場	144	
			女子ダブルス		144	
			男子シングルス		64	
			女子シングルス		64	
			小計		416	
	22・23	西日本シニア選手権大会	シニア男50	奈良県明日香村	136	
			シニア女50	橿原公苑明日香庭球場	104	
			シニア男55	奈良市鴻池テニスコート	124	
			シニア女55		102	
			シニア男60		170	
			シニア女60		144	
			シニア男65		136	
			シニア女65		124	
			シニア男70		90	
			シニア女70		86	
			シニア男75		44	
			シニア女75		36	
			シニア男80		28	
			シニア女80		20	
			小計		1,344	
7	20・21	第74回 東日本選手権大会	一般男子	静岡県静岡市・浜松市 静岡県草薙総合運動場庭球場	538	
			一般女子		210	
			男子35		140	
			女子35		44	
			男子45		90	
			女子45		50	
			シニア男50		94	
			シニア女50		74	
			シニア男55		104	
			シニア女55		64	
			シニア男60		108	
			シニア女60		80	
			シニア男65		134	
			シニア女65		92	
			シニア男70		104	
			シニア女70		58	
			シニア男75		66	
			シニア女75		40	
			シニア男80		32	
			シニア女80		26	
			小計		2,148	

7	20・21	第73回 西日本選手権大会	一般男子	大阪府大阪市	568
			一般女子	マリンテニスパーク・北村・金岡公園テニスコート	306
			男子35		148
			女子35		46
			男子45		108
			女子45		82
			小計		1,258
	24～26	第46回 全日本レディース大会(個人戦)	ふじ(初心者)		76
			すみれ(満18歳以上)	青森県青森市	16
			ばら(35歳以上)	新青森県総合運動公園テニスコート	22
			ゆり(45歳以上)		90
			きく(55歳以上)		114
			あやめ(60歳以上)		226
			はぎ(65歳以上)		256
			さつき(70歳以上)		246
			さくら(75歳以上)		152
			もも(80歳以上)		84
			小計		1,282
	25～28	第36回 全日本小学生選手権大会	男子団体	栃木県那須塩原市	376
			女子団体	くろいそ運動場テニスコート	376
			男子ダブルス		384
			女子ダブルス		384
			小計		1,520
	26～28	男子第64回・女子第63回 全日本実業団選手権大会	男子団体	鹿児島県鹿児島市 鹿児島市東開庭球場	955
			女子団体	鹿児島市郡山運動場テニスコート	144
			小計		1,099
	25～1	全日本高校選手権大会	男子個人		632
			男子団体	宮崎県宮崎市	384
			女子個人	宮崎市生目の杜運動公園	644
			女子団体		384
			小計		1,028
8	5～10	全日本学生選手権大会 第72回文部科学大臣杯(大学対抗) 第73回三笠宮賜杯(ダブルス) 第60回全日本学生シングルス選手権大会	男子大学対抗	岩手県北上市・盛岡市	432
			女子大学対抗	盛岡市太田庭球場他	354
			男子ダブルス		966
			女子ダブルス		682
			男子シングルス		124
			女子シングルス		107
			小計		2,665
	20～22	第49回全国中学校大会	男子個人		128
			女子個人	京都府宇治市・城陽市	128
			男子団体	京都府立山城総合運動公園テニスコート	224
			女子団体		224
			小計		704
	27～29	第41回 全日本レディース決勝大会 (団体戦)	都道府県対抗	愛知県一宮市 一宮市テニス場 いちい信金スポーツセンター	480

9	8・9	第46回 全日本社会人選手権大会	一般男子ダブルス	山形県山形市・天童市・酒田市	614
			一般女子ダブルス	山形市総合スポーツセンターテニスコート他	214
			男子ダブルス35		190
			女子ダブルス35		30
			男子ダブルス45		96
			女子ダブルス45		36
			小計		1,180
	13～15	第23回 全日本シニア選手権大会	男子ダブルス50	京都府福知山市他	178
			女子ダブルス50	京都府立丹波自然運動公園テニスコート他	128
			男子ダブルス55		164
			女子ダブルス55		116
			男子ダブルス60		216
			女子ダブルス60		158
			男子ダブルス65		218
			女子ダブルス65		146
			男子ダブルス70		148
			女子ダブルス70		110
			男子ダブルス75		80
			女子ダブルス75		54
			男子ダブルス80		36
			女子ダブルス80		36
			混合 ダブルス50		102
			混合 ダブルス55		62
			混合 ダブルス60		132
			混合 ダブルス65		102
			混合 ダブルス70		88
			小計		2,274
10	21・22	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第26回全日本ジュニア選手権大会	男子シングルス(U-14)	広島県広島市	18
			女子シングルス(U-14)	広島翔洋テニスコート(広島市中央庭球場)	27
			男子シングルス(U-17)		34
			女子シングルス(U-17)		34
			男子シングルス(U-20)		28
			女子シングルス(U-20)		31
			男子ダブルス(U-14)		18
			女子ダブルス(U-14)		26
			男子ダブルス(U-17)		32
			女子ダブルス(U-17)		34
			男子ダブルス(U-20)		30
			女子ダブルス(U-20)		32
			小計		344
	28～2	第74回 国民体育大会	少年男子	茨城県北茨城市	120
			少年女子	北茨城市磯原地区公園テニスコート	80
			成年男子		235
			成年女子		105
			小計		540
	18～20	第74回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	男子ダブルス	岩手県北上市	370
			女子ダブルス	北上市和賀川グリーンパークテニスコート	350
			小計		720
	25～27	第33回 日本実業団リーグ	男子団体	京都府福知山市	252
			女子団体	福知山市三段池公園テニスコート	67
			小計		319
	26・27	第26回 全日本クラブ選手権大会	男子団体	千葉県白子町	1,250
			女子団体	千葉県白子町サニーテニスコート	311
			小計		1,561

11	22～25	第14回 ジュニアジャパンカップ	男子シングルス(U-14)	宮崎県宮崎市 生目の杜運動公園テニスコート 宮崎市清武総合公園	39	
			女子シングルス(U-14)		42	
			男子シングルス(U-17)		47	
			女子シングルス(U-17)		48	
			男子シングルス(U-20)		46	
			女子シングルス(U-20)		50	
			男子ダブルス(U-14)		40	
			女子ダブルス(U-14)		42	
			男子ダブルス(U-17)		48	
			女子ダブルス(U-17)		48	
			男子ダブルス(U-20)		38	
			女子ダブルス(U-20)		48	
			小計		536	
			12		5～8	第37回 日本リーグ
女子団体	スカイホール豊田	62				
小計		123				
2	2	第65回 全日本インドア選手権大会	男子ダブルス	大阪府大阪市	24	
			女子ダブルス	大阪市中央体育館	24	
			小計		48	
	8・9	日本リーグ入替戦	男子団体	愛知県名古屋市長	32	
			女子団体	露橋スポーツセンター	30	
			小計		62	
3	26～28	第31回 都道府県対抗全日本中学生大会	男子団体	三重県伊勢市長 三重県営サンアリーナ 伊勢市長営庭球場	中止	
			女子団体			
			男子ダブルス			
			女子ダブルス			
			男子シングルス			
			女子シングルス			
			小計			0
	28～30	第45回 全日本高校選抜大会	男子団体	愛知県豊田市長	中止	
			女子団体	スカイホール豊田		
			小計		0	
	29～31	第19回 全国小学生大会	男子6年生の部	千葉県白子町 千葉県白子町サニーテニスコート	中止	
			女子6年生の部			
			男子5年生の部			
			女子5年生の部			
男子4年生以下の部						
女子4年生以下の部						
小計			0			

〈別表34〉

技術等級認定実績

令和2年3月31日現在

支部名	名誉指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1級	2級	3級	4級	合計
1 北海道	0	0	3	0	7	0	19	34	25	0	88
2 青森県	0	0	0	0	5	0	0	2	44	59	110
3 岩手県	0	0	0	0	4	0	6	15	20	0	45
4 宮城県	0	0	0	0	14	0	0	6	24	0	44
5 秋田県	0	0	0	0	12	0	2	9	20	0	43
6 山形県	0	0	0	0	16	0	2	8	69	0	95
7 福島県	0	0	0	0	11	2	8	42	56	0	119
8 茨城県	0	0	3	0	15	0	0	51	50	8	127
9 栃木県	0	0	0	0	1	0	0	32	21	27	81
10 群馬県	0	0	0	0	9	0	5	40	21	174	249
11 埼玉県	0	0	2	4	10	1	17	73	102	83	292
12 千葉県	0	0	0	1	6	0	1	6	25	23	62
13 東京都	0	0	7	0	7	0	11	79	15	24	143
14 神奈川県	0	0	3	0	8	0	19	72	29	0	131
15 山梨県	0	0	0	0	3	0	10	19	37	43	112
16 新潟県	0	0	0	0	5	0	7	22	25	0	59
17 長野県	0	0	0	1	6	2	0	5	49	1,557	1,620
18 富山県	0	0	4	0	2	0	3	9	5	33	56
19 石川県	0	0	2	0	2	0	2	11	28	6	51
20 福井県	0	0	2	0	3	0	1	2	0	49	57
21 静岡県	0	0	0	0	11	1	8	21	38	12	91
22 愛知県	0	0	3	2	13	5	10	38	47	105	223
23 三重県	0	0	4	0	18	0	1	6	18	17	64
24 岐阜県	0	0	0	0	12	0	12	48	38	17	127
25 滋賀県	0	0	0	0	5	0	3	21	23	0	52
26 京都府	0	0	2	1	6	0	15	30	15	20	89
27 大阪府	0	0	1	0	10	3	5	120	23	1	163
28 兵庫県	0	0	0	0	4	0	13	68	13	15	113
29 奈良県	0	0	4	0	10	0	3	0	24	0	41
30 和歌山県	0	0	2	0	3	0	1	3	26	69	104
31 鳥取県	0	0	0	1	3	1	0	3	0	19	27
32 島根県	0	0	0	0	3	0	2	1	1	21	28
33 岡山県	0	0	4	0	4	0	11	49	28	0	96
34 広島県	0	0	4	0	8	0	6	28	68	10	124
35 山口県	0	0	0	0	5	1	13	78	25	1	123
36 徳島県	0	0	0	0	4	0	4	15	20	0	43
37 香川県	0	0	7	0	8	0	2	7	7	19	50
38 愛媛県	0	0	0	0	4	0	3	1	31	62	101
39 高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23	24
40 福岡県	0	0	0	0	10	0	4	10	37	0	61
41 佐賀県	0	0	0	0	2	0	3	1	26	0	32
42 長崎県	0	0	2	0	2	0	10	14	22	20	70
43 熊本県	0	0	0	0	5	0	7	83	151	396	642
44 大分県	0	1	2	0	2	1	6	6	35	18	71
45 宮崎県	0	0	1	1	4	0	1	20	108	0	135
46 鹿児島県	0	0	4	0	1	0	7	4	24	0	40
47 沖縄県	0	0	0	0	3	0	0	0	25	0	28
48 日本学連	0	0	18	0	56	0	37	34	1	3	149
合計	0	1	84	11	362	17	300	1,246	1,540	2,934	6,495
前年度	0	0	91	14	364	15	347	1,248	1,701	2,873	6,653

〈別表35〉

公認審判員認定実績

令和2年3月31日現在

No	支部	認定者数									合計
		マスター レフェリー	マスター アンパイ ヤー	1級審判員		2級審判員				ジュニア	
				新規	更新	一般		高校			
						新規	更新	新規	移行		
1	北海道	2	4	6	2	160	188	247	592	2,148	3,349
2	青森県	1	0	1	0	55	18	228	124	464	891
3	岩手県	5	0	2	11	65	114	73	448	1,259	1,977
4	宮城県	1	0	2	5	71	127	336	511	1,544	2,597
5	秋田県	0	0	2	7	48	55	40	242	758	1,152
6	山形県	0	0	3	2	61	65	59	322	804	1,316
7	福島県	0	0	0	7	71	82	70	434	2,000	2,664
8	茨城県	1	0	3	5	171	143	751	111	199	1,384
9	栃木県	1	0	4	3	90	50	451	53	380	1,032
10	群馬県	2	0	1	1	51	86	288	137	300	866
11	埼玉県	3	8	3	10	310	392	706	753	3,114	5,299
12	千葉県	3	1	2	2	192	186	551	622	3,703	5,262
13	東京都	3	19	2	1	167	221	204	82	57	756
14	神奈川県	1	1	0	3	115	106	158	645	6477	7,506
15	山梨県	1	3	0	2	56	63	287	43	61	516
16	新潟県	1	3	2	5	55	60	84	351	1,994	2,555
17	長野県	0	0	2	1	107	160	380	40	91	781
18	富山県	0	0	0	0	71	53	332	0	35	491
19	石川県	0	3	0	3	18	76	1	146	284	531
20	福井県	0	0	0	0	23	15	57	19	17	131
21	静岡県	1	4	5	5	167	155	106	457	3,032	3,932
22	愛知県	4	2	1	3	178	324	1,002	59	100	1,673
23	三重県	1	0	10	2	23	68	162	33	73	372
24	岐阜県	0	0	0	5	34	76	327	64	201	707
25	滋賀県	0	0	0	1	69	69	493	23	63	718
26	京都府	1	0	0	2	102	75	506	38	92	816
27	大阪府	1	0	0	3	89	229	200	31	34	587
28	兵庫県	0	0	2	3	226	135	57	15	65	503
29	奈良県	1	0	0	2	52	110	349	33	23	570
30	和歌山県	4	0	0	2	64	77	6	15	96	264
31	鳥取県	0	0	0	4	22	16	22	23	44	131
32	島根県	2	0	2	0	17	78	249	29	57	434
33	岡山県	2	5	0	9	39	33	560	19	124	791
34	広島県	4	0	1	3	72	155	964	55	51	1,305
35	山口県	3	0	0	4	93	100	462	85	207	954
36	徳島県	2	0	1	0	14	38	158	29	53	295
37	香川県	1	0	1	2	29	57	201	59	95	445
38	愛媛県	0	0	0	0	49	67	9	33	267	425
39	高知県	1	0	0	3	11	30	57	11	24	137
40	福岡県	0	0	3	2	114	120	445	103	282	1,069
41	佐賀県	1	0	3	0	29	26	32	246	887	1,224
42	長崎県	0	0	2	3	88	64	110	318	1,330	1,915
43	熊本県	0	0	2	7	44	55	73	448	1,360	1,989
44	大分県	3	8	0	2	41	42	165	93	1,325	1,679
45	宮崎県	1	0	3	0	41	60	228	65	293	691
46	鹿児島県	0	1	10	3	97	108	106	50	119	494
47	沖縄県	0	0	1	0	14	42	34	40	82	213
48	日本学連	0	0	0	1	528	605	0	0	0	1,134
合計		58	62	82	141	4,303	5,274	12,386	8,149	36,068	66,523
前年度		40	87	101	183	4,173	5,036	13,248	8,606	36,721	68,195

〈別表36〉

会員登録集計表(令和元年度)

令和2年3月31日現在

支部名	指導者	一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合 計	
	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北海道	299	177	2,032	38	572	261	7,034	139	3,147	4	117	0	12	619	13,213
青森県	268	53	503	16	247	92	3,026	43	878	1	9	1	0	206	4,931
岩手県	357	59	1,013	33	467	125	3,446	68	1,656	1	31	0	9	286	6,979
宮城県	137	87	1,011	22	496	176	5,194	77	2,394	2	25	4	87	368	9,344
秋田県	251	34	459	18	447	74	2,021	38	847	1	28	0	4	165	4,057
山形県	195	40	562	21	425	68	2,342	42	1,122	1	5	1	30	173	4,681
福島県	416	76	633	36	614	149	5,528	68	1,616	1	27	0	3	330	8,837
茨城県	551	71	865	25	620	209	9,292	84	2,264	1	3	0	11	390	13,606
栃木県	108	37	714	19	435	115	4,034	50	1,293	0	18	0	16	221	6,618
群馬県	213	46	871	24	725	147	5,354	46	1,110	0	0	0	7	263	8,280
埼玉県	307	213	3,797	35	1,130	382	17,722	128	3,958	0	0	0	192	758	27,106
千葉県	794	113	1,748	23	501	336	15,438	118	3,193	1	9	0	27	591	21,710
東京都	168	140	3,050	22	402	194	5,015	172	4,456	1	6	0	98	529	13,195
神奈川県	660	89	1,008	18	404	355	18,120	132	3,029	0	0	0	6	594	23,227
山梨県	106	50	491	14	279	49	921	30	815	0	0	0	23	143	2,635
新潟県	220	52	791	27	464	153	3,981	62	1,243	1	16	0	1	295	6,716
長野県	159	36	1,311	16	306	115	3,804	67	1,405	1	14	0	3	235	7,002
富山県	146	23	332	17	336	58	2,195	27	897	0	0	0	1	125	3,907
石川県	47	46	597	21	362	65	2,963	37	1,043	1	2	1	33	171	5,047
福井県	43	33	329	5	175	37	1,085	15	544	1	17	0	2	91	2,195
静岡県	704	133	1,494	33	770	312	11,505	83	1,569	2	21	0	8	563	16,071
愛知県	256	167	2,772	21	724	346	17,748	142	5,144	0	36	0	6	676	26,686
三重県	117	52	621	15	282	139	5,640	48	1,324	1	18	0	17	255	8,019
岐阜県	56	62	895	30	540	250	5,535	50	1,785	0	0	0	20	392	8,831
滋賀県	137	32	480	14	331	77	957	38	1,390	0	0	0	3	161	3,298
京都府	167	84	749	16	338	109	2,882	54	1,555	0	0	0	2	263	5,693
大阪府	319	90	1,527	9	205	305	10,829	191	3,095	0	0	0	2	595	15,977
兵庫県	291	82	1,471	23	383	306	15,272	147	4,898	2	36	0	4	560	22,355
奈良県	140	30	801	9	150	65	2,514	29	951	0	0	0	0	133	4,556
和歌山県	218	58	690	18	359	105	2,836	32	804	1	22	0	0	214	4,929
鳥取県	73	37	393	11	141	38	962	23	516	1	14	0	5	110	2,104
島根県	78	48	364	13	258	46	1,572	41	821	1	0	0	1	149	3,094
岡山県	167	59	520	15	270	138	5,358	67	2,131	1	33	0	1	280	8,480
広島県	319	124	1,368	15	222	153	5,078	97	2,843	2	31	0	72	391	9,933
山口県	164	70	1,175	10	329	104	4,070	51	1,547	3	80	1	15	239	7,380
徳島県	143	24	294	9	159	87	1,827	22	532	1	24	0	1	143	2,980
香川県	66	28	357	10	236	51	2,120	28	718	2	12	0	2	119	3,511
愛媛県	145	39	655	13	298	125	3,977	61	1,297	1	53	0	3	239	6,428
高知県	59	29	330	9	109	30	801	19	415	1	13	0	14	88	1,741
福岡県	620	77	1,027	17	299	198	6,898	141	2,523	4	60	0	29	437	11,456
佐賀県	234	28	362	18	346	72	2,311	43	809	0	0	0	1	161	4,063
長崎県	443	60	891	19	385	146	3,828	101	1,729	2	25	0	97	328	7,398
熊本県	431	71	781	20	373	134	3,939	58	1,351	2	39	1	21	286	6,935
大分県	182	59	543	15	266	98	2,214	29	728	0	10	0	49	201	3,992
宮崎県	319	68	540	26	394	156	2,941	41	894	1	18	0	1	292	5,107
鹿児島県	347	106	941	42	402	174	3,902	84	1,283	2	39	0	10	408	6,924
沖縄県	69	43	627	13	125	46	1,072	25	272	0	0	2	43	129	2,208
日本学連	4	0	14	0	0	0	0	0	0	0	22	423	6,599	423	6,639
合 計	11,713	3,235	44,799	913	18,101	6,970	247,103	3,188	79,834	48	933	434	7,591	14,788	410,074
昨年度	11,543	3,221	45,457	886	18,720	6,990	253,099	3,195	83,464	50	1,014	431	7,614	14,773	420,911